

2020年11月13日

ご利用者様
ご家族様

社会福祉法人 こころの窓
通所施設 青い鳥
管理者 田中研吾

感染症への対策強化にあたり、今冬は送迎車両の換気を励行いたします。

送迎車両内の室温が低くなりますので、特に、服装にご注意ください。

ご利用者、ご家族の皆さまにおかれましては、長期にわたる新型コロナウイルス感染症予防対策へのご協力を賜り、誠に有難うございます。また、対策強化のためにお願いしましたご家庭での検温、送迎車両乗車時の検温及び手指消毒につきましても、お陰様で順調に履行されており、お互いの感染リスクを下げることに繋がっております。衷心より感謝申し上げます。

さて、懸念されていた秋から冬にかけての感染流行第3波がいよいよ現実のものとなり、今後、これまでで最大の流行となる可能性が高いと見られています。

「青い鳥」ではさらなる対策強化に踏み出し、皆さまがよく触れるところを中心に消毒の回数を日に4度まで増やしております。加えて、換気をためらいがちな冬季に備え、比較的換気能力が劣る空間について、「全熱交換形換気機器」という空調機能を備えた換気扇の増設工事を行っており、今月15日に完了する予定です。これは、換気の際に捨てられてしまう室内の暖かさや涼しさを再利用(熱回収)しながら換気するシステムをもち、冬季においても室温低下を抑えながら、常時、換気できることが期待できます。

以上のように、施設内において対策を深化させていきますところ、並行して、送迎時における感染リスクを下げる取り組みもさらに強化いたします。

今冬は新型コロナ感染対策として、送迎車両では基本的に走行中は「外気導入」モードで外気を取り入れ、加えて、可能な範囲で窓を開け換気を促進します。
例年に比べ、送迎車内の室温はかなり低くなることが予想されますので、ご利用の際は、服装にご留意ください。

様々、皆さまにご負担をおかけするところもございますが、でき得る限りの対策を講じ、今冬を乗り切りたいと思います。お力添えのほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。